



市政をズバリ問う 一般質問

本定例会での一般質問は、6月14日から16日までの3日間行われ、13人の議員が質問しました。

その質問と答弁の要旨をお知らせします。

※原稿は議員本人によるものです。

道路行政の実情は

田中 瑞広 議員

問 442号線のバイパス開通の予定を示して欲しい。
道路課長 県の事業計画では平成21年度完成予定である。

問 市への陳情書の取扱い。

市長 陳情要望を含め40件あり金額にして12億円、自主財源確保の努力が必要。

問 土地改良区内道路接続の中長期展望はどうか。

建設部長 駅西を西部から街路までクランクを作らずスムーズな道路を計画予定。

市立病院の現状と今後の取り組みについて

問 市立病院の市からの繰り出しと累積赤字は。

総務課長 病院事業への繰り出しは11年度より17年度の合計で約27億円である。

病院事務局長 17年度決算見込みで1億4,000万円の赤字となる予定。

看護部長 質の高い医療の

実現に向け看護の質の継続的向上と効率性、病院の運営方針への参加、患者の安心と信頼の確保、人材育成、働き甲斐のある環境づくりを軸に取り組み中である。

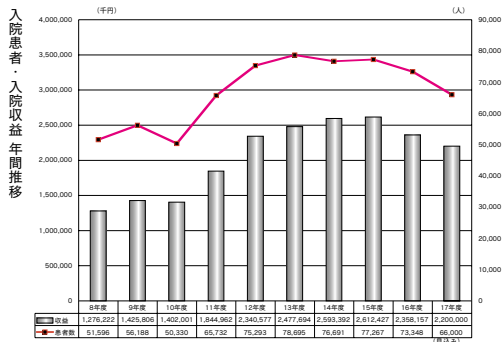
院長 病診連携では、電子カルテを導入しCD-ROMでの紹介・逆紹介に活用している。

問 厚生労働省において在院日数平均17日以内での回転を指導されているのはわ

かるが、意識を失っている患者を他の病院へ転院させることは市民サイドとして耐えきれない。

院長 市民の皆様には申し訳ないのですが、患者収容の件では、今の病院と切り離した療養型の施設がないと経営的に出来ない。

問 地方公営企業法の全部適用は考えないのか。
市長 検討に入るべきときは検討に入る。



市立病院の入院患者数と入院収益の推移
(折れ線が患者数)